

問 6. 貴事業所が運営している障害福祉サービスの人員体制についてお伺いします。下表のについてお答えください。令和 4 年 10 月 31 日時点についてお答えください。

(1) 以下の各人数をお答えください。(数字を記入)

① 貴事業所が運営する障害福祉サービス 全体	正規職員数	人
	非正規職員数	人
	常勤換算数	. 人
② ①のうち 障害者雇用者数	正規職員数	人
	非正規職員数	人
	常勤換算数	. 人
③ ②障害者雇用者のうち ピア研修修了者※1	正規職員数	人
	非正規職員数	人
	常勤換算数	. 人
④ ①のうち 障害者雇用者以外の ピア研修修了者	正規職員数	人
	非正規職員数	人
	常勤換算数	. 人

※ピア研修修了者：地域生活支援事業の「障害者ピアサポート研修（基礎研修及び専門研修）」を修了した者
経過措置で都道府県、または市町村が認める研修を修了した者も含む

(2) (1) で回答した職員のほかに、以下の貴事業所において以下の活動を行っている人はいますか。

① 貴事業所で障害者のピアサポートを有償ボランティアとして行っている人 (都度、謝金や交通実費等が支払われている方)	人
② 貴事業所で障害者のピアサポートを無償ボランティアとして行っている人 (上記、謝金、実費等が支払われていない方)	人
③ その他の方 (具体的に)	人

(3) ピアサポート体制加算、ピアサポート実施加算を取得する際の要件として、「事業所の従業員に対し、障害者に対する配慮等に関する研修が年 1 回以上行われていること」が定められています。この「年に 1 回以上実施が必要な研修」について、貴事業所での実施状況をお伺いします。

① 上記、年に 1 回実施が必要な研修を行いましたか、または、行う予定はありますか。

1. 実施している 2. 今年度中に実施予定 3. 今年度は実施する予定はない …(4)へ

② 「1. 実施している」「2. 今年度中に実施予定」と回答した事業所にお伺いします。
具体的にどのような研修を行いましたか、予定していますか。

1. ピアサポート活動の好事例を共有、協議するといった研修を実施した
2. 事業所内でのピアサポート活動に関する事例検討
3. 全職員を対象としたピアサポート活動に従事する職員の期待役割及び仕事内容に関する研修
4. ピアサポート活動に従事する職員による職員向けの活動報告会
5. 職員に対する障害者に対する合理的配慮に関する研修
- 6 その他 (具体的に)

(4) 貴事業所としての「ピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者の職員」へのフォロー体制についてお伺いします。

①ピアサポート活動に従事する職員へのフォロー体制はありますか。

1. ある 2. ない

②「1. ある」と回答した事業所にお伺いします。具体的にどのようなフォロー体制がありますか。

1. ピアサポート活動に従事している職員が相談できるメンターやコーチのような位置づけの職員を配置している
2. ピアサポート活動に従事している職員同士で集まる機会を設け、相互に話し合える場を設けている
3. ピアサポート活動の振り返りを行えるよう定期的に面談を行っている
4. 事業所外でのピアサポーター同士の研修会や勉強会への参加を勤務として認めている
5. その他（具体的に _____)

(5) 「ピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者の職員」の兼務状況についてお伺いします。

①問6(1)③で回答した「ピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者の職員」の中で、同一法人内で他事業を兼務している職員はいますか

1. いない 2. いる

②「2. いる」と回答している事業所にお伺いします。どの事業と兼務していますか（あてはまるものすべてに○）

1. 自立生活援助 4. 地域移行支援 7. 就労継続支援A型
2. 計画相談支援 5. 地域定着支援 8. その他
3. 障害児相談支援 6. 就労継続支援B型 （具体的に _____)

Ⅱ. ピアサポート活動に従事している職員の支援を受けている利用者についてお伺いします。

問 7. 貴事業所では、「どの職員がピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者」の職員であるかを利用者に開示していますか？（ひとつに○印）

1. 全員に開示している 2. 一部の利用者には開示している 3. 開示していない

問 8. 「ピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者の職員」の支援を受けている利用者は何人いますか？（数値を記入）

_____ 人

問 9. 「ピアサポート体制加算、または、ピアサポート実施加算の算定要件として配置しているピアサポート活動に従事している職員」が支援している利用者個々のプロフィールをご記入ください。(該当する数値をご記入ください)

- ✓ 対象となる利用者全員についてご記入ください。
- ✓ ただし、20人を超える場合は、20人までお答えください。
対象となる利用者全員から20人を無作為に選んでください。

ID	性別	年代	障害者手帳の所持状況	自立支援医療の受給	難病	発達障害	高次脳機能障害	どの職員がピアサポート活動に従事する障害当事者かを知っているか ※注
	1. 男性 2. 女性 3. 選択しない	1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳以上	1. 身体障害者手帳 2. 療育手帳 3. 精神障害者保健福祉手帳 4. 手帳を持っていない	1. 受給している 2. 受給していない 3. わからない	1. 診断を受けている 2. 診断を受けていない 3. 診断をうけているか 4. わからない			1. 知っている 2. 知らない 3. わからない
	単一回答	単一回答	該当数値に○ ○の場合は()に等級も記載	単一回答	単一回答	単一回答	単一回答	単一回答
1			1 () 2 () 3 () 4					
2			1 () 2 () 3 () 4					
3			1 () 2 () 3 () 4					
4			1 () 2 () 3 () 4					
5			1 () 2 () 3 () 4					
6			1 () 2 () 3 () 4					
7			1 () 2 () 3 () 4					
8			1 () 2 () 3 () 4					
9			1 () 2 () 3 () 4					
10			1 () 2 () 3 () 4					
11			1 () 2 () 3 () 4					
12			1 () 2 () 3 () 4					
13			1 () 2 () 3 () 4					
14			1 () 2 () 3 () 4					
15			1 () 2 () 3 () 4					
16			1 () 2 () 3 () 4					
17			1 () 2 () 3 () 4					
18			1 () 2 () 3 () 4					
19			1 () 2 () 3 () 4					
20			1 () 2 () 3 () 4					

※注 本設問で「1. 知っている」と回答した利用者が、利用者調査の調査対象となります。

Ⅲ. 貴事業所において問6(1)③で確認したピア研修を修了してピアサポート活動に従事している職員についてお伺いします。

問10. 貴事業所の「ピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者の職員」の具体的な仕事内容をお答えください。(すべてに○印)

1. 事業所の利用者に同行して行う業務(同行支援)
2. 事業所の利用者と対面して面談する業務(面談・面接)
3. 事業所の利用者宅に訪問(家事援助含む)して行う業務(家庭訪問)
4. 事業所の利用者以外の支援対象者(例えば、施設への入所者や入院患者)と対面して行う業務(利用者以外との面談・面接)
5. 家族と対面して行う業務(同行、面談、訪問含む)
6. 関係機関と対面して行う業務(同行、面談、訪問含む)(関係機関直接連絡調整)
7. 事業所の利用者と通信手段(電話やメールなど)を用いて行う業務(利用者との連絡及び電話相談等)
8. 事業所の利用者以外(例えば、施設への入所者や入院患者)と通信手段(電話やメールなど)を用いて行う業務(利用者以外との連絡及び電話相談等)
9. 家族と通信手段(電話やメールなど)を用いて行う業務(家族連絡及び電話相談等)
10. 自事業所以外の関係機関と通信手段(電話やメールなど)を用いて行う業務(関係機関連絡調整)
11. 会議(ケア会議を含む)の企画・運営・参加(会議参加及び議事進行)
12. 利用者によるグループ活動(利用者会など)の企画・運営・支援(グループ活動支援)
13. 利用者への就労支援に関する企画・運営・支援(就労支援)
14. 地域生活に関する啓発活動の企画・運営・実施(病院、施設での講演、茶話会、見学対応等含む)(啓発活動)
15. 他事業所職員や関係団体(障害者団体など)との交流、情報交換に関する企画・運営・参加(関係機関との連携)
16. 苦情処理、サービス評価 . . . 何を指しているか確認 「苦情解決に関する対応」
17. 11～16以外の企画・運営に関する業務(支援に関わる研修会やイベントの企画、およびその事務作業)(企画・立案)
18. 書類作成(利用者支援に関わる日報や連絡事項の記録)(支援に関わる文書作成)
19. 事業所の運営管理事務(経理、人事など)(総務)
20. 事業所の設備維持管理(備品管理、清掃など)(庶務)

問11. 上記以外に「ピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者の職員」が従事している仕事はありますか。(自由記述)

問 12. 「ピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者の職員」が活躍することで、利用者に与えるプラスの効果として期待されることと実際の効果について、①～⑭について、最もあてはまると思われる選択肢をお答えください。(あてはまる数値に○印)

	期待度合					効果の度合い				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	まったく期待していない	期待していない	どちらともいえない	期待している	とても期待している	まったく効果はない	効果はない	どちらともいえない	効果がある	とても効果がある
①利用者の具体的な生活像が見えやすくなる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②利用者の不安・孤独が解消される	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③障害特性にあった福祉サービス等の活用の仕方を提案できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④専門職と利用者を媒介することで、専門職と利用者のコミュニケーションが促進される	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤経験者ならではの、インフォーマル資源の活用方法を伝えられる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥経験者ならではの生活の知恵を伝えられる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦経験者ならではの、気持ちにより添った言葉を掛けることができる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧利用者にとって貴重な(回復の)モデルとなる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨利用者の意思表明を促進できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩前向きに活動している仲間の存在を知り、利用者が夢や希望を口にできるようになる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪(たとえば、退院・退所や就労などの自立生活に関する)目標への意欲が向上する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫将来に希望が持てるようになる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬経験者の助言を求めている利用者のニーズを満たすことができる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑭専門職への不信感がある利用者とも信頼関係が築きやすくなる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 13. 上記の他に「ピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者の職員」が支援することで利用者に与えるプラスの効果はありますか。ある場合は、以下に箇条書きで記載してください。

問 14. 「ピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者の職員」が共に働くことで、事業所の他の職員に与えるプラスの効果として期待されることと実際の効果について、①～⑪について、最もあてはまると思われる選択肢をお答えください。(あてはまる数値に○印)

	期待度合					効果の度合い				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	まったく期待していない	期待していない	どちらともいえない	期待している	とても期待している	まったく効果はない	効果はない	どちらともいえない	効果がある	とても効果がある
①障害特性への理解が深まる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②利用者の幅広い情報収集ができるようになる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③利用者のニーズを把握しやすくなる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④本人を中心とした支援が浸透する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤自立生活を送る障害者を具体的に知ることが出来る	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥障害者である同僚がいることで、利用者の自立や回復を想像出来るようになる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦障害者である同僚と一緒に働くことで、より深く障害者を理解するようになる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧障害者である同僚と一緒に働くことで、より深く障害者を尊重するようになる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨障害者である同僚と一緒に働くことで、障害者の可能性を信じられるようになる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩障害者である同僚と一緒に働くことで、障害者の挑戦を後押しするような職場の雰囲気形成されるようになる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪適切な対応をすれば回復することがわかり、仕事のやりがいにつながる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 15. 「ピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者の職員」が支援することで、事業所の他の職員に与えるプラスの効果はありますか。ある場合は、以下に箇条書きで記載してください。

IV. 今後のピア研修修了者の活用についてお伺いします。

問 16. 今後の貴事業所における「ピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者の職員」の活動範囲に対する意向をお答えください。(ひとつに○印)

1. 活動範囲は今後広げていきたい
2. 活動範囲は現状を維持していきたい
3. 活動範囲を限定していきたい

問 17. 今後、貴事業所では「ピアサポート体制加算又は実施加算の算定要件として配置している障害当事者の職員」をどのように雇用する予定ですか。(ひとつに○印)

1. 今後増員する予定である
2. 今後も人数を維持する
3. 今後は減員する

問 18. ピアサポート活動の推進にあたり、活動をより進めるための方策や活動にあたっての課題について、忌憚のないご意見をお書きください。(自由記述；箇条書き)

V. ピア研修を修了してピアサポート活動に従事している職員の概要

問 19. ピア研修修了者の活動状況についてご回答ください。

問 6 (1) ③、④で回答した「ピアサポート活動に従事している職員」の現在の働き方についてご確認ください。該当する数値をご記入ください

	年代	ピア加算 ※1	性別	所持手帳/ 等級	自立支援 医療	障害支援 区分	保有資格	ピア研修※2 受講	役職・職種	雇用形態	勤続年数 ※3	仕事内容	勤務時間
選択肢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上	1. 対象 2. 対象でない	1. 男性 2. 女性 3. その他	1. 身体障害手帳 2. 療育手帳 3. 精神障害者保健福祉手帳 4. 手帳を持っていない ※該当の場合、等級も記載 ※複数所持の場合は、全ての数値を記載	1. 受給している 2. 受給していない	0. 非該当 1. 区分1 2. 区分2 3. 区分3 4. 区分4 5. 区分5 6. 区分6 9. 未認定	1. 社会福祉士 2. 介護福祉士 3. 精神保健福祉士 4. 相談支援専門員 5. 介護支援専門員 6. その他 ※複数所持の場合は、全ての数値を記載	1. ピア研修のみ受講 2. ピア研修以外の研修も受講	1. 管理者 2. サビ管 3. 相談支援専門員 4. 地域生活支援員 5. 職業指導員 6. 生活支援員	1. 正規 2. 非正規	数値を記入	問10をご確認いただき、該当する仕事の番号をご記入ください	令和4年10月の所定労働時間をご記入ください
1											年		時間
2											年		時間
3											年		時間
4											年		時間
5											年		時間
6											年		時間
7											年		時間
8											年		時間
9											年		時間
10											年		時間

※1 ピア加算…ピアサポート体制加算、ピアサポート実施加算を算定する際の算定対象である場合は「1.対象」を選択してください。

※2 ピア研修…地域生活支援事業の「障害者ピアサポート研修（基礎研修及び専門研修）」または、経過措置で都道府県、または市町村が認める研修を修了した者も含む

※3 勤続年数…貴事業所に配属されてからの雇用期間をご記入ください（ただし、就労継続支援 A 型事業所の利用期間は除きます）

